

令和3年度第1回宮代町地域公共交通会議

次 第

~~1. あいさつ~~

2. 委員委嘱

~~3. 委員紹介~~

~~4. 会長互選~~

5. 説明

(1) 地域公共交通会議とは

(2) スケジュール

(3) 当町における公共交通等の現行体系

(4) 利用者数の推移

(5) 各停留所の利用者数

(6) 交通行動調査の結果概要

(7) 見直しの方向性

~~6. その他~~

地域公共交通会議とは

目的

- 地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する
※宮代町地域公共交通会議設置要綱第1条

協議事項

- 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様及び運賃等に関する事項
- 町営有償輸送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- 交通会議の運営方法その他交通会議が必要と認める事項
※宮代町地域公共交通会議設置要綱第2条
※●は今回の設置にあたって協議いただく事項

必要性・利点

- 住民や利用者、交通事業者、関係行政機関が一堂に会して議論できる場。
⇒合意形成（協議を調える）
- 道路運送法等の特例措置要件。（処理期間の短縮など）

スケジュール

次期運行開始に向けて

○令和5年4月からの運行開始を目指し、住民や利用者のニーズ等を把握するとともに、その結果を活用しての地域公共交通会議での議論、次期運行業者の選定、関東運輸局手続き、事前準備を想定し、概ね、以下のスケジュールで進めていきます。

アンケート調査・分析 郵便調査 循環バス内調査	地域公共交通会議	運行業者の選定	関東運輸局手続き	事前準備	運行開始
令和3年10月～ 令和4年1月	令和4年2月～ 令和4年4月	令和4年5月～ 令和4年7月	令和4年9月～ 令和4年10月	令和4年11月～ 令和5年3月	令和5年 4月～

当町における公共交通等の現行体系

鉄道

◎東武伊勢崎線

◎東武日光線

※直通運転

地下鉄日比谷線
地下鉄半蔵門線

3つの駅

東武動物公園駅（乗降客数）

21,468人（R2）

31,354人（R1）

姫宮駅

4,140人（R2）

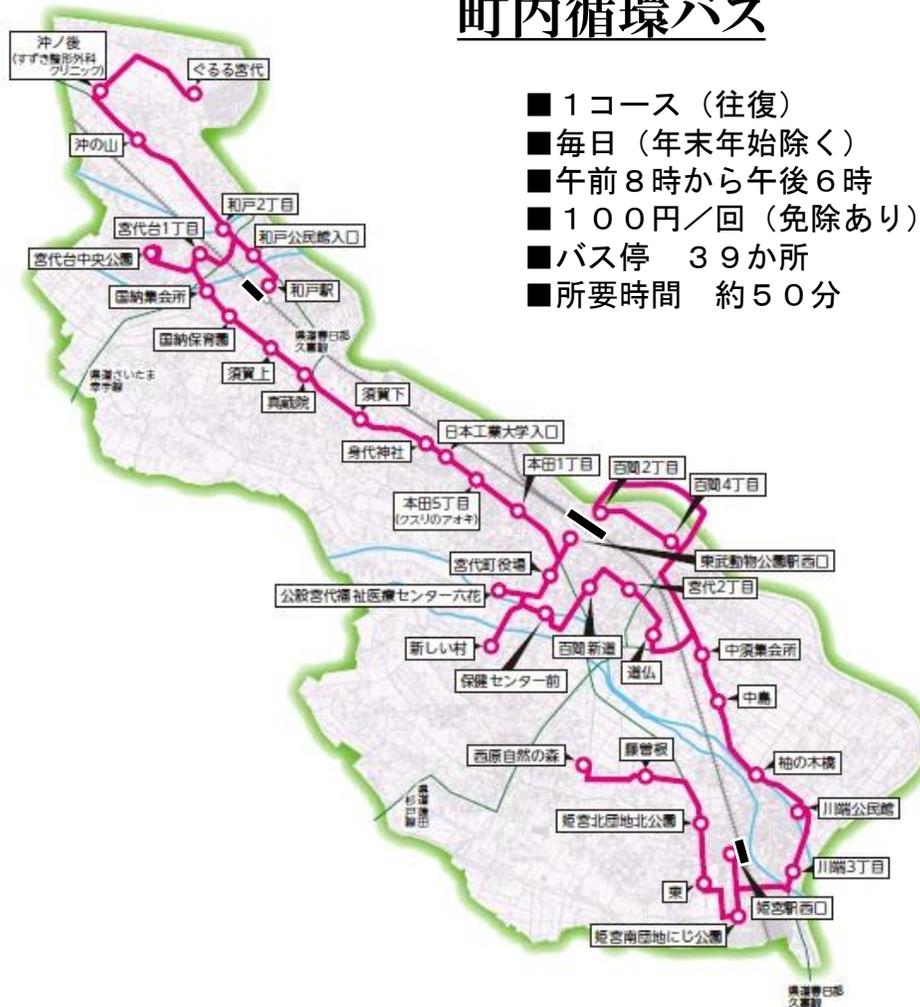
5,215人（R1）

和戸駅

3,175人（R2）

4,102人（R1）

町内循環バス



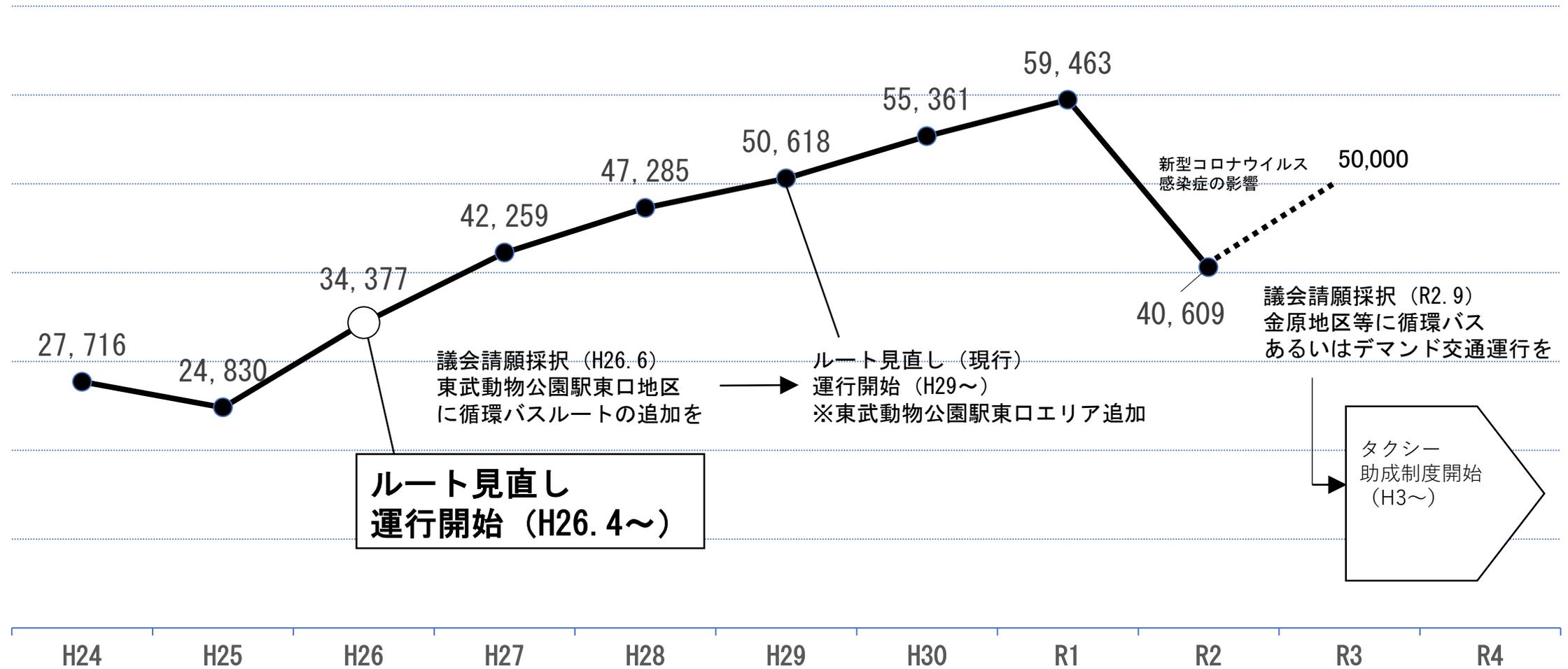
- 1コース（往復）
- 毎日（年末年始除く）
- 午前8時から午後6時
- 100円／回（免除あり）
- バス停 39か所
- 所要時間 約50分

タクシー助成制度（令和3年～）

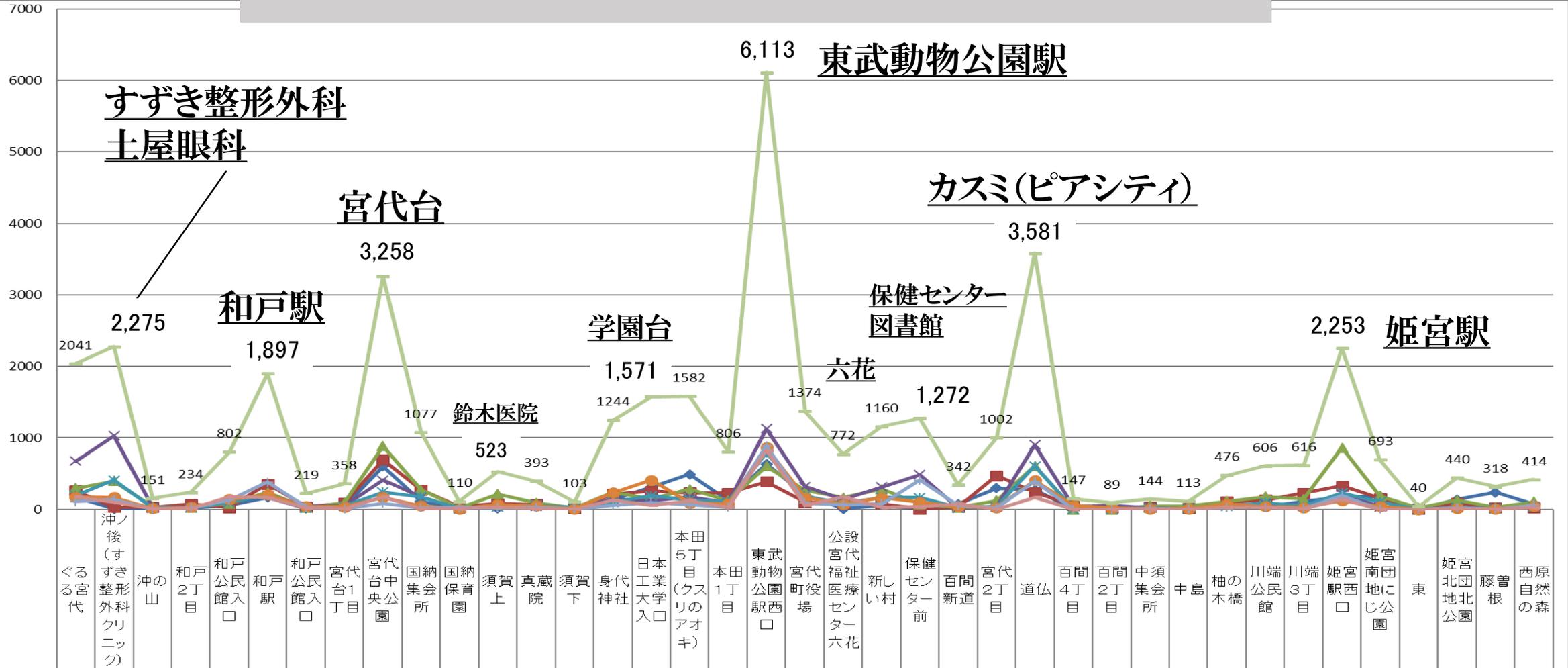
- 対象者
 - 75歳以上の人
 - 障がい、介護等の人
- 助成内容
 - 400円／回
 - 最大36回（3回／月）
- 利用方法
 - 登録証の提示＋助成券
- 条件
 - 契約タクシー事業者（3社）
 - を利用し、宮代発又は宮代着

※令和3年度及び4年度は実証実験

前回のルート見直しと乗客数の推移



各停留所の利用人数（乗車）



● 1	便	163	9	11	20	56	167	14	37	602	110	1	18	45	7	139	307	490	120	633	204	10	59	1	72	293	272	0	0	15	14	50	35	114	174	175	2	134	237	75
■ 2	便	257	32	30	72	27	354	36	87	693	272	35	80	68	18	214	251	230	225	383	98	76	76	8	29	471	233	56	20	33	14	102	129	225	326	154	7	84	28	28
▲ 3	便	295	395	38	26	79	234	22	95	881	269	21	210	90	21	236	147	279	123	602	263	161	280	71	26	121	606	0	0	48	47	112	177	145	860	186	20	124	26	102
✕ 4	便	673	1030	30	26	99	200	44	46	408	171	6	58	46	15	142	116	178	89	1126	315	134	314	485	19	35	903	39	52	20	13	52	74	41	216	33	4	23	6	42
✦ 5	便	195	409	16	23	99	197	16	45	241	174	9	34	57	25	97	188	130	109	787	185	80	169	162	29	35	608	0	0	15	10	40	96	43	231	102	2	30	11	34
● 6	便	173	166	12	31	141	202	41	33	169	47	6	69	49	10	229	408	90	77	867	164	73	162	101	38	28	402	52	17	7	7	70	38	24	123	41	1	13	6	45
✦ 7	便	108	136	5	23	129	381	27	6	87	21	25	22	25	5	59	94	65	32	889	86	66	75	407	53	16	391	0	0	6	3	24	28	13	190	2	3	20	4	60
■ 8	便	177	98	9	13	172	162	19	9	177	13	7	32	13	2	128	60	120	31	826	59	172	25	37	76	3	166	0	0	0	5	26	29	11	133	0	1	12	0	28
▲ 合計		2041	2275	151	234	802	1897	219	358	3258	1077	110	523	393	103	1244	1571	1582	806	6113	1374	772	1160	1272	342	1002	3581	147	89	144	113	476	606	616	2253	693	40	440	318	414

交通行動調査の結果概要①

■調査の目的

循環バスの次期事業計画を策定するにあたり、町民の日常の交通行動や公共交通の利用意向を把握すること

■調査対象

無作為2,000人（町内全域、18歳以上）

■調査期間

令和3年10月27日から令和3年11月19日

■調査内容

個人属性：年代、職業、運転免許・自動車所持の有無

利用状況：目的別（通勤、通院、買い物等）の利用状況

└ 行先、頻度、交通手段、時間

循環バス：運行方式、運賃の妥当性及び全般に対する意見等

タクシー：助成制度に対する意見等

公共交通：町の公共交通全般に対する意見

■調査結果（回答者数）

708人（35.4%）

地区別の回答状況

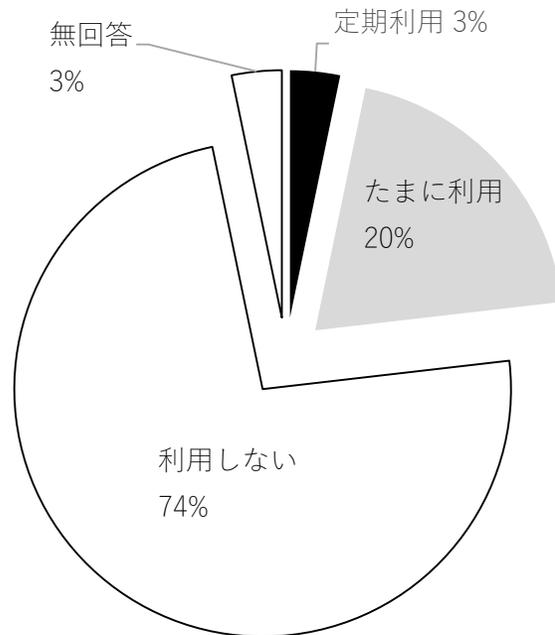
	居住地	回答数	割合 (%)		居住地	回答数	割合 (%)
1	八河内・桃山台	25	3.72	13	道仏	37	5.51
2	和戸本郷・沖の山	10	1.49	14	中島	32	4.76
3	和戸駅周辺	55	8.18	15	宮東・字川端	26	3.87
4	宮代台・国納北	57	8.48	16	姫宮駅東口	56	8.33
5	西条原新田	3	0.45	17	姫宮団地	40	5.95
6	西条原中通	9	1.34	18	藤曾根・姫宮	8	1.19
7	西条原深戸・国納南	9	1.34	19	西原	15	2.23
8	東条原	8	1.19	20	山崎	23	3.42
9	須賀	27	4.02	21	金原・逆井	14	2.08
10	学園台	42	6.25	22	中	6	0.89
11	東武動物公園駅周辺	109	16.2	23	東	13	1.93
12	百間	48	7.14	計	合計	672	100

交通行動調査の結果概要②

バスの利用状況

- バスを利用している人は、全体の約23%（4人に1人）の割合となっています。
- 特に、運転免許証を「無」と回答した人に限ると、約43%の人にバスを利用いただいています。

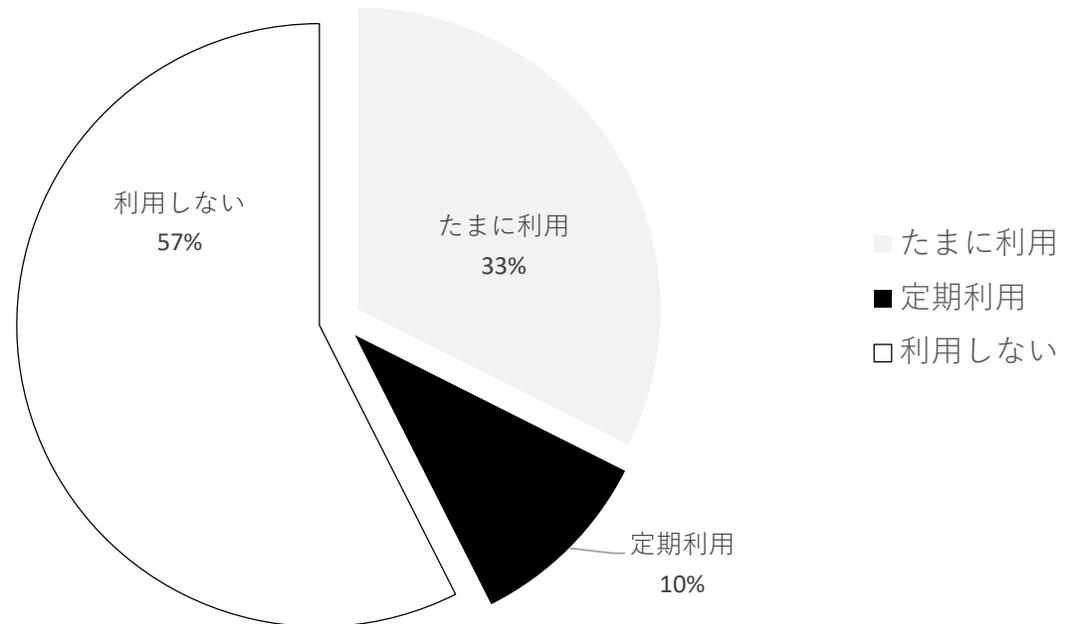
回答者全体



ほぼ倍増



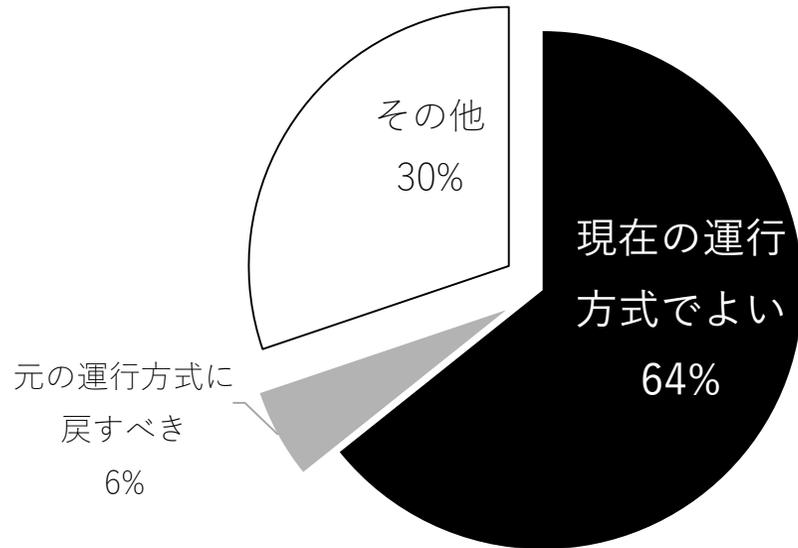
運転免許証「無」の人



交通行動調査の結果概要③

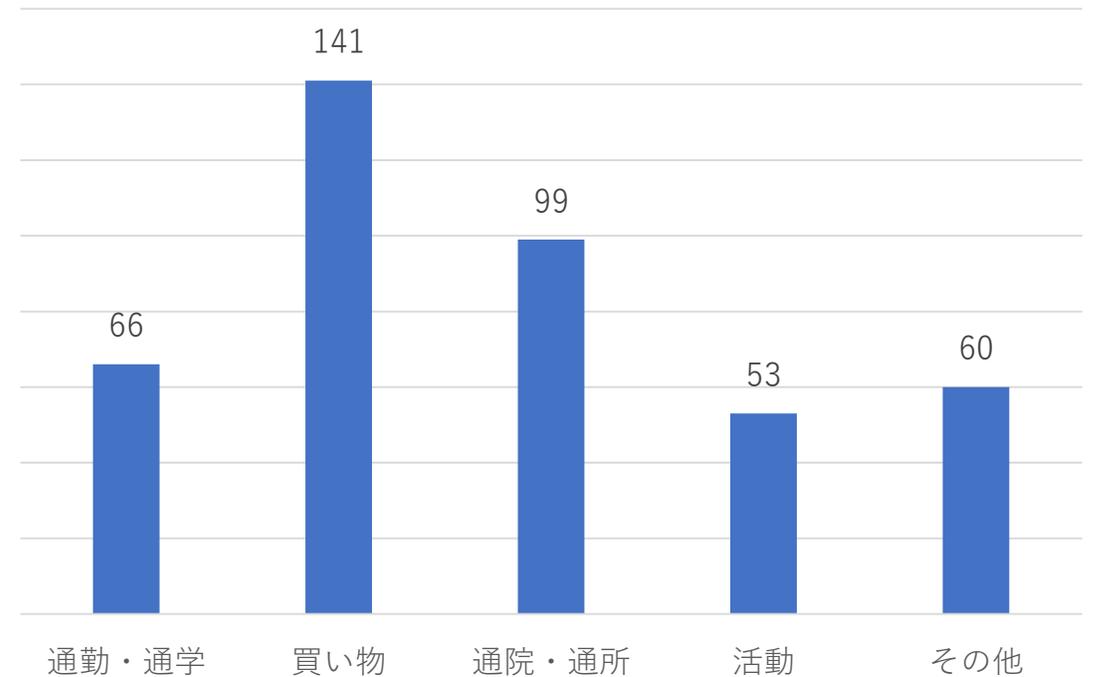
運行方式（ルート）について

○現在の運行ルートがよいか、平成26年3月以前のルートがよいか伺ったところ、64%（約6割）の方が、現在のルートがよいと回答しました。



利用目的について

○循環バスの利用目的（複数回答可）を伺ったところ、買い物がトップで、続いて通院・通所が多くなっています。



見直しの方向性

現行ルートは、

- 高齢化した住宅団地と公共施設、駅、買物施設、医療機関を丁寧かつ効率的に結ぶことを基本的な考えに平成26年度から運行
- その結果、乗客数は平成25年の24,830人から令和元年の59,463人と大幅に増加
- この間、平成26年6月には百間地区（東武動物公園駅東口地区）の住民からの請願が議会で採択されたことを踏まえて平成29年度からコース追加を実施
- また、令和2年9月には循環バスが走っていない地区（金原、逆井）の住民から循環バスの運行もしくはデマンド交通の導入の請願が議会で採択されたことを踏まえて令和3年度から75歳以上の高齢者や障がい者を対象にタクシー助成制度を実証実験形式で実施

交通行動調査の結果では、

- 現行の運行方式（ルート）で「よい」と答えた人は全体の64%（約6割）、元の運行方式に戻すべきと答えた方は全体の6%（1割未満）で、現行ルートを支持

こうしたことから、

- 現行ルートを抜本的に見直す理由が見当たらないため、現行ルートを基本にルート案を立案する方向